

## 2022. 1 月のブルーベリー農園その 2

年明けの安芸の郷の 3 つの事業所もコロナ禍だが、滞りなく開所して利用者の皆さんも作業に励んで

いる。安芸の郷にブルーベリーの実を提供している東広島市豊栄町のブルーベリー園はブルーベリーの剪定の時期で、根気づくで作業を続けている。週末を利用して通っているが、天気がいいので気持ちよく作業できた。



1 月 8 日（土）

畑の一番上の段からブルーベリーを眺める。葉がすっかり落ちた。葉も赤く紅葉したが、残った枝も色があるので一面深い赤色になっている。



1 月 9 日（日）

畑のブルーベリーの剪定を続ける。切る前と



切った後。

畑でブルーベリーの剪定をしているとお客さんの声が聞こえる。お会いすると抜いたばかりの大根と白菜が届けられ「明日はとんどがあるので焼くものがあったら持ってきて」と知らせていただく。





切った枝がたまりだしたので農園に着いたら最初に 1 時間ばかり枝を燃やすことにした。



1 月 10 日 (月)

地域のとんどが始まった。田んぼに竹を組んで一気に燃やした。パーンパーンと竹の割れる音が何度も広がる。



夕方帰るころにとんどで焼いた餅が近所から届く。車に乗る前にレンジで膨らませて 1 個もぐもぐした。



ブルーベリーの枝を燃やすので枝を取った後に地面が出てくる。その様子を見てジョウビタキがやってきた。



今年に入って今日で 4 回目の枝の焼却でたまった枝の半分くらいの量が減った。



畑のブルーベリーの枝の様子。剪定作業はまだまだつづく。

2021 年 1 月 15 日  
社会福祉法人安芸の郷  
理事長 遊川和良



